*クリティカルパス名： 婦人科　ロボット支援下子宮全摘術　　クリティカルパス　6階南病棟 （病室　　号室）

*病名：　　ロボット支援下子宮全摘術を受けるかたへ（入院治療計画書） 5泊6日　　*主治医氏名：

（症状：　　）　　ID番号：　　患者氏名：　　年　月　日　入院

*かかりつけ医： なし ・ あり（クリニック名　　）

項目	（　/　） 入院日	（　/　） 手術当日	（　/　） 術後1日目	（　/　） 術後2日目	（　/　） 術後3日目	（　/　） 退院予定日（術後4日目）
目標	・不安なく手術が受けられる		・術後合併症を起こさずに順調に回復できる ・痛みが軽減できる ・褥瘡ができない			・退院後の生活が理解できる
投薬	◇14時に下剤を内服します ◇持参された内服薬があれば、寝る前まで内服はできます	◇麻酔科医師の指示で、持参されている薬を朝飲んでいただく場合があります その時は看護師が声掛けします	◇医師の指示があるとき、または飲水できるようになれば内服薬が飲めるようになります （持参した薬、痛み止めなど）			◇必要に応じて痛み止めなどの退院処方がでます
注射		◇9時頃から点滴を開始します 点滴は手術翌日の夜まで続けて行います	◇点滴をします	◇点滴をします ◇点滴は夕方までで終了です		
処置	◇臍の処置をします ◇術後の合併症予防で、弾性ストッキングを履きます	◇手術後血栓予防の器械を下肢につけます （歩行できるまで）			◇術後3病日目に創部の処置、超音波の検査ががあります ◇診察で問題が無ければ退院許可がでます	◇弾性ストッキングは終了です
検査	◇必要に応じて、採血をします	◇手術後に心電図をつけます（翌朝まで）	◇朝、採血をします		◇起床後に採血をします	
食事 （栄養）	◇医師の指示に応じて必要時特別な栄養管理・栄養指導を行っていきます 特別な栄養管理　□あり　□なし ◇胃腸に食残渣を残さないような食事がでますので病院食以外の物は食べないようにして下さい ◇21時以降は絶食となります	◇手術室入室2時間前まで、水かお茶の飲水が飲めます	◇排ガスの確認をします ◇排ガスが出たら、水・お茶を飲んでいただき、問題がなければ食事を再開します （おかゆから開始します）			
指導 説明	◇麻酔科医師の診察があります ◇持参されたお薬について薬剤師が確認します ◇外来で受けた説明内容と同意書などの書類について確認します ◇手術に必要な物品を確認します ◇病棟内の説明をします ◇原則として希望による他科の受診はご遠慮下さい ◇不安なことがあれば看護師に声をかけて下さい	◇手術中、ご家族の方は家族控室でお待ち下さい ◇手術終了の連絡があるまでは、必ずおひとりは控室で待機して下さい ◇手術終了後に術後病棟で家族と面会し、そのまま術後病棟に1泊となります	◇医師の診察があります（術後病棟で） ◇術後の経過に問題がなければ元の病棟に11時ころ戻ります 		◇医師の診察があります ◇看護師より退院指導があります	◇会計の説明があります ◇退院は午前中にお願いします
看護 （清潔 排泄 観察等）	◇シャワー浴をして下さい ◇症状や腹部状態の観察を行います 	◇手術中に尿の管が入ります ◇手術後、合併症や腹部の状態観察、痛みなどの観察を行ないます ◇手術後、血圧や体温、尿量など時間毎に観察します	◇朝、洗面のタオルを渡します ◇9時頃、体を拭き身支度を整えます ◇離床し問題なければ尿の管を抜きます ◇初回排尿時は看護師にお知らせ下さい ◇合併症や腹部の状態観察、痛みなどの観察を行います	◇9時頃、体を拭きます ◇シャワー浴は、術後2病日目以降、体調に合わせて可能です ◇合併症や腹部の状態観察、痛みなどの観察を行ないます		◇入浴は退院後の外来受診時に医師に確認して下さい
リハビリ	◇術後必要に応じてリハビリを介入していきます リハビリ介入　□あり　□なし					
安静度	◇制限はありませんが、病室を離れる時は看護師に声をかけて下さい	◇歩いていける場合は、歩いて手術室に行きます ◇手術後はベッド上安静となります ◇手術後の合併症予防のために寝返りを行い、足を動かしましょう	◇手術後の合併症予防のために寝返りを行ない、足を動かしましょう ◇尿の管を抜いた後は、無理の無い程度に歩行しましょう （初回歩行は看護師が付き添います）	◇制限はありません ◇積極的に体を動かしましょう		
診察予約						◇退院後、2週間くらいを目安に外来受診の予定となります ◇退院日に次回の外来日を予約し予約票などをお渡しします

主治医以外の担当者名　医師：金　彰午　看護師：弓田　恵美　薬剤師：緑川　琴乃　栄養士：藤田　昌子　理学療法士：横地　正伸　作業療法士：佐藤　瑞枝

竹田綜合病院　産婦人科　　2026年　7月作成